

長沢病院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人社団長明会 長沢病院
開設主体	医療法人社団長明会
所在地	山口県山陽小野田市中央一丁目5番26号
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	60床 療養病床 60床 慢性期 60床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	60床 療養病床 60床 慢性期 60床
診療科目	内科、胃腸内科、外科、リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	59名 3名 22名 28名 6名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

- ・届出入院基本料 療養病棟入院基本料1
- ・病床稼働率 93.3%（平成29年8月～平成30年9月）

② 自施設の課題

近隣に整形外科が増えたことと、外科医師の超高齢化のため患者が大幅減、費用対効果を考え外科を廃止したい。

病院は看取りが基本ではなく、在宅復帰に向けた治療、リハビリのできる病院にしたい。また、急性期病棟からの患者紹介ばかり頼っており、それも受け皿がほとんど同じ医療機関であることは、今後の動向次第では患者が全く紹介されなくなる可能性もある。地域包括ケア病棟の在宅復帰先から、療養病棟が外れたことも病床稼働率に影響している。今後、入口となる病院を増やすこと、出口となる施設との連携を強化していくことが必要となる。また、地域に根付く医療機関であるためには、各種健診の充実を図っていききたい。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

医師の家が病院の敷地内にあり、24時間いつでも対応可能な病院である。よって患者、家族にとって安心して療養ができる病院である。特に、終末期の患者にとってはなくてはならない病院である。また、山口労災病院との連携で在宅復帰できない患者の受け皿として、また難病患者の受入れ可能な病院である。

② 今後持つべき病床機能

このまま療養病棟入院基本1が維持できれば、2025年も維持していきたい。しかし、今後の診療報酬の見直しで処置を優先した医療区分が廃止になり、DPC評価になれば治療、リハビリそして在宅復帰できる病院、つまり治る患者を集中的に治療して在宅に帰す機能がなければ生き残れない。そのためには、早急に医師を雇い、訪問診療、訪問看護、訪問リハ等を手がけて様々の形で地域に入り込み、自力で地域包括ケア病床を起ち上げる実力のある病院を目指したい。

③ その他見直すべき点

主治医としての医師の確保が必要である。患者がほとんど来ない外科は廃止します。

まずは、医師1名、PT1名、の増員を考えている。現在、看護配置数には余裕があるが、優秀な人材であれば、積極的に採用していきたい。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	60		60
休棟等			
(合計)	60		60
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

外科の廃止（Drの超高齢化と近隣に整形外科が増え大幅患者減） 循環器科を新設予定

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】（自由記載）

--